



松任城



「松任城本丸址」の石碑が建つ本丸跡

所在地：石川県白山市古城町、殿町、西新町
 別称：一名蕪城、鎚木城
 立地：平地、標高21m
 城主：松任氏、鎚木氏、前田利長、丹羽長重
 時期：平安末期、室町、戦国
 見学時間（参考）：20分

松任城は平安末期に当地を支配していた松任氏（林氏の庶流）の館として建てられ、室町幕府の奉公衆を経て、一向一揆では松任組の本拠地として城砦化が進んだ。



太鼓橋をイメージした橋

天正5年（1577）に上洛を目指す上杉謙信に攻撃を受けるが、城主鎚木頼信が和睦にまで持ち込んだと言われる。天正8年（1580）織田方の柴田勝家により落城した後、織田方の城として城下町が整備された。前田利長が3年、丹羽長重が11年在城した。

手取扇状地の扇中央部に位置し、松任4万石として栄えた松任城は、慶長19年（1614）の一国一城令により廃城となる。



再整備された内堀跡の芝と内堀沿いの石垣

廃城の約60年後に写された「松任城古図」によれば、本丸、二の丸、三の丸、出丸矢倉台、出丸などの曲輪を備え、幅9～23mの水堀や空堀、土塁によって守られていた。外堀で区画された城域は、南北305m、東西301m余であったと推測される。

昭和42年（1967）に「おかりや公園」として整備され、平成19年（2007）に「松任城址公園」に改名された。平成22年度の再整備では、中央通り側の内堀石垣跡に石垣と堀跡に芝を整備するとともに、当時の太鼓橋をイメージした高欄橋を設置するなど、松任城址としての歴史性を重視して整備された。



櫓台の痕跡が残る南西隅



松任城略年表

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
 北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
 〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
 TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
 E-MAIL. contact@j-sampo.com
 ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>